

英語2C (English 2C)					担当教員
					教授 野崎 亜紀子
科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等	
外国語	2年次 前期	講義 グループワーク	1.5単位	選択	

【概要】

本講義は、医療・医薬研究における生命・医療倫理上の問題について、英文の文献（特に時事的なニュース記事）を通して学びます。中学・高校までで学習しておくべき基本的な文法事項を前提とした上で講義を展開し、生命・医療倫理の世界の動向を知り、考え、自らの意見を構築します。

講義は毎回、(1)時事ニュースから英文音声聞き、発音すること、(2)テキスト内容を受講生と共に検討すること、(3)受講生によって提出された課題テキストの要約を検討すること、以上のことを実施します。

本講義では英和・英英の辞書を必要とします。

【授業の一般目標】

英文テキストを「英語講義の英文テキスト」としてでなく、批判的思考を行う対象とできるようになること。テキストについての意見等を英語で表現できるようになること。英英／英和辞書を使いこなすことが出来るようになること。以上が本講義の目標です。

【準備学習(予習・復習)】

予習：テキストの日本語による要約と、設問に対する英語での応答を作成した上で、講義に出席する必要があります。なお担当者はmanaba上で事前に期限内に提出してもらいます。また基本的な文法事項や内容の検討を、受講生に問いながら講義を進行するので、それらの準備が必要となります。

復習：講義内で取り組んだ英文ニュースについてリスニング・スピーキング練習をし、スピーキング音声を録音の上、manaba上に提出してもらいます。その他、テキストの要約ポイントの確認、英文法、語句等の復習が必要となります。

上記予習復習を合わせて1週あたり150分程度の学習が必要です。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	「英語2C」を学ぶために	野崎	本講義の概要を確認し、講義の基本方針、進め方、取り組み方を理解する。
2	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
3	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
4	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
5	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
6	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
7	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
8	中間まとめ	野崎	これまでの内容について、中間まとめを行う。
9	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
10	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
11	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
12	テキストを読み、理解し、討議する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
13	テキストの内容について討議	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。

	し、発表する		を理解し、簡潔に発表できる。
14	テキストの内容について討議し、発表する	野崎	(1)英語を字面で読むのではなく、その内容を理解できる。(2)語彙を蓄える。(3)内容を理解し、簡潔に発表できる。
15	総括・まとめ		

(書名)

(著者・編者)

(発行所)

教科書 日々生じるニュースの中から厳選したテキストを講義内で指示します。

参考書 必要に応じて、提示・配布します。

【成績評価方法・基準】

課題および講義の取り組みとして小テスト（10％）、講義内での質疑・発表、辞書利用の状況（20％）、課題提出（10％）、定期試験結果（60％）により総合的に評価します。

【評価のフィードバック】

講義内で取り組んだ課題については、講義内で講評を行います。また定期試験についての講評は、学内掲示等によって実施します。